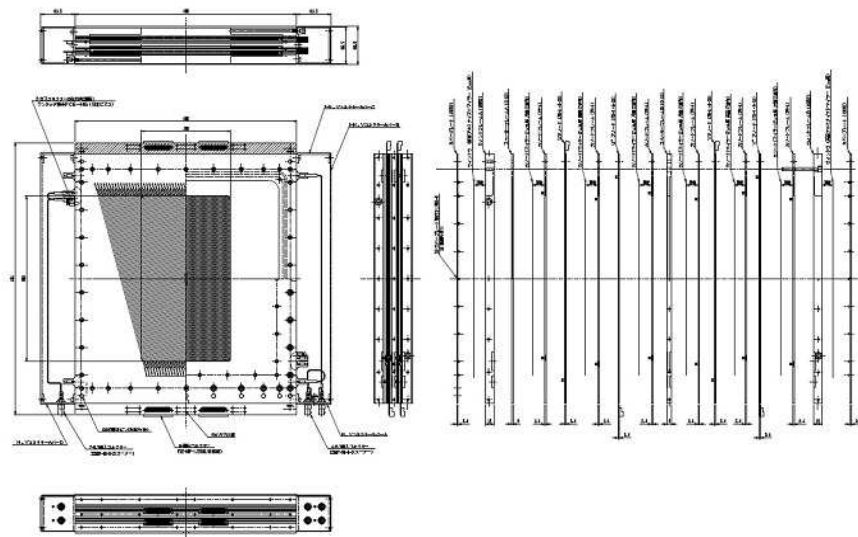


# CHAMBER

## ドリフトチェンバー

### MODEL MWDC-717



概要図

#### 【概要】

MWDC-717は、素粒子・原子核実験に用いられている放射線検出器の一種です。多数の細いワイヤーを張った検出器中に気体を充填し、荷電粒子や $\gamma$ 線による電離により発生した1次電離電子を電子雪崩過程によりガス増幅し、粒子の通過を精度良く測定する検出器です。

#### 【特徴】

多線比例計数管と電子のドリフト時間測定を組み合わせた位置検出器です。ワイヤーを張った基板を積層することによりコンパクトな構造を実現しております。信号読出用コネクタ、ガス流入口や高電圧を印加するのに最適なコネクタを備えております。ワイヤー構造はU, U' V, V' でそれぞれ15度の角度をもっています。

#### 【仕様】

位置測定方式	: 多線ドリフトチェンバー
有感領域	: 横160mm*縦300mm
陽極材料	: 12.5 $\mu\text{m}$ $\phi$ Au-W線 (ポテンシャル 75 $\mu\text{m}$ $\phi$ Au-BeCu線)
ワイヤーピッチ	: 2.5mm
ウインドウ材料	: 12 $\mu\text{m}$ 両面Alマイラー (各基板間12 $\mu\text{m}$ カーボン塗布マイラー)
ギャップ間距離	: 2.4mm
大きさ	: 横約523mm*縦約500mm*厚み約70mm (カバー込み)